

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371300894
事業所名	グループホーム守山寿

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	併設する運営母体との連携、協働体制は日頃から関わりが深く万全である。自治会への加入へ向けた働きかけは行っているが、地域組織などとの交流には至っていない。近隣からの入居者が多く、散歩の途中自宅へ立ち寄り、近所の人と言葉を交わしている。婦人会による盆踊りの訪問があり、入居者の楽しみになっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取り組み (外部評価項目: 3)	評価
	会議は年6回偶数月に開催し、メンバーは地域住民、入居者、家族、知見者、施設関係者である。議題は活動報告を中心に、行事や研修、外部評価等である。台風時の対応について質疑の結果、災害避難マニュアルの作成と入居者救助区分判定が整備され、安全とサービスの質の向上に取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市の担当窓口には、事務連絡や事故報告等で訪れ、最近ではスプリンクラー設置について相談し、指導を受けている。また、成年後見人制度の利用や課題がある場合は、いきいき地域センターに相談している。市の研修に参加し、認知症専門講座の実習生の受け入れを行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	意見箱を設置し誰でも意見やアイデアが出せるようになっている。行事に合わせて年1回、家族が集う機会を設けている。また、家族毎に年1回意見票で提案する機会を設け、家族からの意見の把握に努め、運営に反映させるよう努めている。ホーム便りは3カ月毎に発行し、居室担当職員から、ホームでの様子を添えて送付している。家族の来訪が多く、その際、意見や要望を聞くようにしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	×			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。